

あしまた 1 月号

2012.1.12 No.85

謹
賀
新
年



初詣 何を願いしょうかな



町長 竹崎一成

誇りと喜びが持てる魅力ある
まちづくりを推進します

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
町民の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月に発生し、未曾有の被害をもたらした東日本大震災が大きな出来事として国内のみならず世界中で報じられました。芦北町も震災発生直後から義援金箱の設置や物資の支援を行い、人的支援としても町職員を被災地へ三波にわたり派遣してまいりました。一日も早い被災地の復旧・復興を心から祈り申し上げます。

本町においてもいろいろな出来事がありました。まず、合併5周年記念事業として2月に実施した「V・プレミアリーグ男子バレーボール大会」です。全日本クラスの手が繰り広げる迫力あるプレーで会場は盛り上がりました。

また、12年ぶりに水俣・芦北地域での開催となった熊本県民体育祭（9月）では、葦北郡は前年総合成績の17位から大きく順位を上げ5位の成績となり、躍進賞を獲得しました。また、10月には大相撲・尾上部屋の合宿を誘致しました。町内外から多くの方に交流センターでの合宿の模様を間近で観覧いただき、日本の国技である相撲を肌で感じてもらいました。「スポーツの振興によるまちづくり」を提唱する本町にとって更なる弾みがつきました。

教育面では、小中学校で徳育教育を推進するため「論語」の素読を導入しました。また、平成24年度から中学校保健体育の授業における武道の必修化に先立ち、町内の中学校に「空手道」を導入しました。心身を鍛え、礼節を身につけ、強さとやさしさを併せ持つ人材の育成を目指してまいります。

私は、町長就任以来一貫して町民の皆様の声を大切にした「人にやさしい政治」をモットーに「安全・安心」のまちづくりを目指し、町民の皆様からの助言・提言等を政策に反映し、地域間競争に打ち勝つ足腰の強い魅力あるまちづくりを推進してまいりました。今後も引き続き、「個性の光る活力あるまちづくり」を町政の柱とし、皆様とともに芦北町に住むことに誇りと喜びが持てるような魅力あるまちづくりを推進するため全力を傾注してまいります。

今後とも町政へのより一層のご支援とご協力を賜りますとともに、新しい年が町民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

◎もくじ（2012年1月号）

- 2 新年のごあいさつ
- 4 まちの出来事
- 6 平成23年度町民意識調査結果（概要）
- 10 町県民税申告のお知らせ
- 12 叙勲・大臣表彰等
- 13 芦北マラソン／町の文化財（実照寺仁王像）
- 14 保健センターだより（肝臓に注意）
- 15 まちからのお知らせ
- 16 警察署／消防署からのお知らせ
- 17 書◇短歌／出生・おくやみ
- 18 芦北うたせマラソン大会参加募集／グリーンカーテンコンテスト／星野富弘美術館だより



藤井公明 議会議長

町の更なる飛躍を目指して
最善を尽くします

新年あけましておめでとうござ
います。

町民の皆様には、輝かしい新春
を健やかに迎えのことと、心から
お慶び申し上げます。

一昨年4月、芦北町第三代議長
に就任致しまして、更に昨年は、
熊本県町村議会議長会第三十七代
会長に選任頂き、多くの皆様から
お祝いと激励のお言葉を頂きま
して、心から感謝申し上げますと
共に、その重責に応えるべく精一
杯の努力をしていく所存でありま
す。皆様方のご指導とご協力を切
にお願い致します。

本町も、合併して7年を経過
し、新町行政も更に新しい指針に
より確実な方向性を示し、「個性
の光る活力あるまちづくり」を基
本理念とし、「すべては二十一世紀
を担う子どもたちのために」を
テーマとした施策を展開するにあ
たり、町民各位のご支援ご協力を
賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界的
な金融・経済危機は、未だにわが
国の経済に大きな影響を与えてお
り、景気対策、雇用対策も好転の
兆しが見えにくい状況でありま
す。

また、3月11日に発生しました
東日本大震災においては、亡くな
られた方が一万五千人以上という
未曾有の大災害となりました。謹
んで哀悼の意を表したいと思います
です。

また、東京電力福島第一発電所
では、津波により、深刻な原子力
事故が発生し、国内はもとより、
国際的にもその対応に大変苦慮さ
れておりますし、我々国民の生活
にも多大な影響を及ぼしておりま
す。

国内の政局は、9月に発足しま
した「野田政権」が、諸々の難題
を抱え、先行きは全く不透明であ
り、国民が不安を抱く状況にあり
ます。

今後は、地方自治体にとって厳
しい財政状況に加え、人口減少、
少子・高齢化が進めば、次世代に
一層負担がかかることは明確であ
り、行財政改革に努め、効率的な
財政運営を強力に推進していかな
ければなりません。

芦北町議会におきましては、地
方分権が進展するなか、町民と行
政が一体となって地域の特性を活
かしたまちづくりを進めていくこ
とが必要であります。

議会は、民意の反映が失われる
ことがないよう決意も新たに地方
自治の振興・発展に向け、鋭意努
力し、町の更なる飛躍を目指して
最善を尽くす所存であります。

むすびに、今年一年が町民の皆
様一人ひとりととりまして、幸せ
多い素晴らしい年となりますよう
心からお祈り申し上げます、年頭のご
あいさついたします。

迎春



星野さんの詩に気持ちを込めて歌う岩淵まこと・由美子夫妻

詩画と音楽のハーモニー

12月14日、星野富弘美術館5周年記念事業として岩淵まこと・由美子夫妻によるコンサートを開催しました。

岩淵まことさんはシンガーソングライターで、多くのCMソングやアニメのテーマソングを歌い、CDも発表しています。現在は妻の由美子さんと全国各地でコンサートを行っています。

岩淵さんの作品の中には星野富弘さんの詩に曲をつけたものがあり、その中から「ぺんぺん草」、「かくあじさい」、「シクラメン」などを感情豊かに歌ってくれました。約100人の観客が岩淵夫妻の歌声に聴き入り、会場となった星野富弘美術館は心温まる雰囲気であふれました。

みんなの思いを被災地へ

12月16日、しろやまスカイドームで秀岳館高校の生徒200人以上が参加して雅太鼓、吹奏楽、三味線の演奏などを披露するチャリティーコンサートが開催されました。3月11日に発生した東日本大震災発生直後から、秀岳館高校の生徒が自分たちで何かできないかと募金活動から始めた活動がチャリティーコンサートをするまでになりました。このチャリティーコンサートには佐敷小3・4年生の児童や佐敷中の生徒もゲスト参加し、ソーラン節と吹奏楽演奏を行いました。

このチャリティーコンサートには、約1,000人の来場者があり、この日だけで545,262円が集まりました。秀岳館高校の生徒は「これからも息の長い支援をしていきたい」と話していました。



秀岳館高校の生徒と佐敷小児童によるソーラン節

Jリーガーと交流

12月23日、岩崎グラウンドで第2回あしきたフットボールデーが開催されました。Jリーガーを招き、子どもたちのサッカー技術の向上を目的に芦北町サッカー協会と芦北町熊日販売センターグループが主催。「将来、芦北町からJリーガーが誕生してくれればいい」と町サッカー協会の元山秀志会長があいさつ。冷たい風が吹く中、参加した町内の4歳から中学生の子どもたち約100人は、Jリーガーの六反勇二選手と岡本賢明選手の2人と一緒に練習を行いました。その後、Jリーガーの2人は「子どもの頃フットボールは何回できましたか」などの子どもたちの質問に答えていました。



六反選手（アビスパ福岡、写真左から2人目）と岡本選手（コンサドーレ札幌、写真中央）



安全祈願祭での鍬入の儀

女島地区に地域交流拠点施設

12月9日、芦北町女島活力推進センターの安全祈願祭が女島埋め立て地で地元・行政・建設関係者など約100人が出席し行われました。

このセンターは、女島地区を中心とした不知火海沿岸地域の保健福祉機能や交流機能を備えた複合施設です。総事業費1億7,419万円(平成22～24年度)で約3,000㎡の敷地に約500㎡の木造平屋建ての施設を建設。水俣病被害者をはじめとする地域住民の交流や健康増進を図る拠点となります。

本年7月に完成し、8月から運用開始を予定しています。

生活習慣病について学ぼう

熊本県は生活習慣病が多い県です。芦北町でも生活習慣病について学び改善してもらおうと芦北町食改善推進協議会が糖尿病予防教室を12月7日に地域活性化センターで開催しました。まずは糖尿病とはどんな病気かを参加者に説明。その後、糖尿病を予防するための食事（1日1800キロカロリー以内）を作りました。メニューはさわらのホイル焼き、根菜の中華風炒め、白菜のピーナツ和えの3品。参加者は食改善推進委員と協力しながら調理を行い、「糖尿病についての知識を深めることができました。食の大事さがわかった」と話していました。



レシピを見てカロリー計算しながら調理

祝100歳 迫本次雄さん

12月10日、迫本次雄さん（田浦4）が100歳を迎え、ご自宅でお祝いがあり、竹崎町長から迫本さんへ慶祝金を交付しました。

迫本さんは甘夏みかん園開墾の苦労話や読書の話をされ、「読書が趣味です。以前は五木寛之の本などをよく読んでいましたが、最近は目が弱くなってきたため、お寺のお経の本を読んでいます。昼食前には、座ったままですが、体操をすることで体がほぐれて長生きするのだと思います」と長生きの秘訣を話してくれました。

これからも体に気をつけてお元気で過ごされますようお祈りいたします。



お祝いされて笑顔の迫本さん

皆さんの声を町の運営に活かします

町民意識調査結果〈概要〉

芦北町では、効果的・効率的な行政システムの確立を目指して「行政評価」に取り組んでいます。
 生活の現状やまちづくりに対する町民の意識について調査し、今後の行政運営等に反映させる基礎資料とするため「政策に関する町民意識調査」を行いました。
 なお、調査結果の確定版（報告書）は、芦北町公式ホームページに後日掲載します。

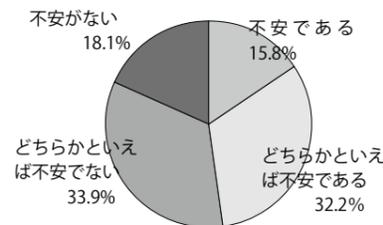
1. 調査の方法
 町内在住の20歳以上の町民を2000人無作為抽出し、平成23年7月20日から8月5日の期間に実施

2. 回収結果
 (1) 配布数 2000件
 (2) 有効回答数 937件
 (3) 有効回収率 46.8%

※集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100にならない場合があります。
 ※回答の比率は、その質問への回答者数を基準として算出しています。また、対象者を限定した設問では、その回答者数を基準に回答の比率を算出しています。
 ＊お問い合わせ
 企画財政課 政策推進室行政改革推進係
 ☎(82) 2511 (内線253)

子育て支援の充実

問 子育てに不安を感じていますか（中学生以下の子どもがいる世帯）

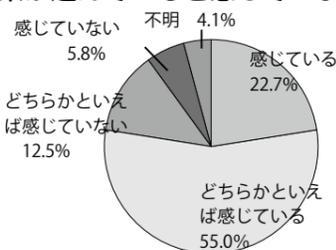


問 不安である、どちらかといえば不安であると感じる理由

1. 経済的	45.9%
2. 保育・教育環境	18.8%
3. 学童保育	7.1%
4. 家庭環境	4.7%
5. 防犯上	7.1%
6. 健康・医療	9.4%
7. その他	3.5%
8. 不明	3.5%

消防・防災体制の充実

問 自然災害や火災などの災害に対する防災対策が進んでいると感じていますか

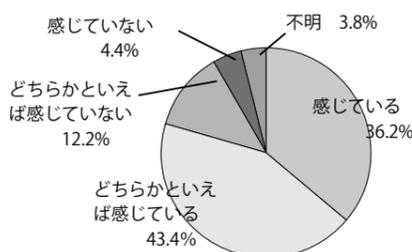


問 あなたの世帯では、災害に備えてどのような取り組みを行っていますか〈複数回答可〉

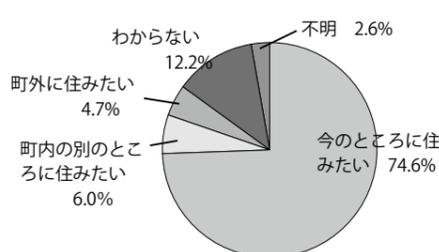
1. 火災報知機の設置	33.4%
2. 非常持出品の準備	14.9%
3. 防災用具の確認	13.8%
4. 避難場所の確認	30.1%
5. 何もしていない	3.8%
6. その他	1.3%
7. 不明	2.6%

快適な住環境の充実

問 住宅周辺が衛生的であると感じていますか

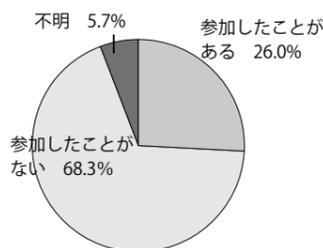


問 現在住んでいるところにこれからも住みたいと思いますか



世界的な視野を持つ人材の育成

問 国際交流・国際協力の取り組みに参加したことがありますか

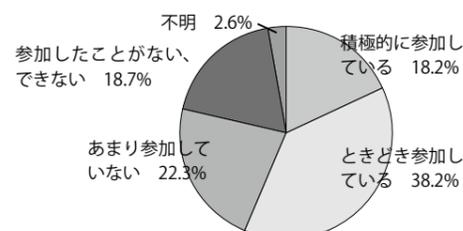


問 参加したことがない理由

- ・参加する機会がない
- ・病気や高齢のため取り組めない
- ・仕事などで時間が取れない
- ・取り組みを知らない（参加方法がわからない）
- ・興味がない

みんなが主役のまちづくり

問 あなたは、地域活動に参加していますか

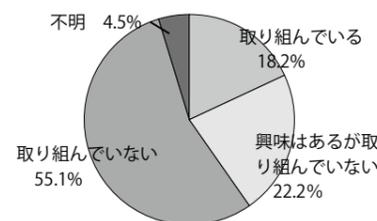


問 参加したことがない、またはできない理由

- ・病気や高齢のため取り組めない
- ・仕事や家事などで時間が取れない
- ・どのような地域活動があるのか知らない
- ・興味がない
- ・人の集まる場所が嫌い

生涯学習の充実

問 あなたは、自ら学習テーマを持って学習活動に取り組んでいますか

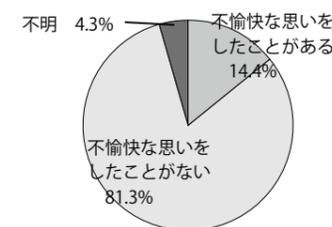


問 興味はあるが取り組んでいない理由

- ・仕事や家事などで時間が取れない
- ・病気や高齢などのため取り組めない
- ・参加しづらい・興味のある取り組みがない
- ・子育てで時間がない
- ・取り組む余裕がない

人権を尊重する社会の実現

問 あなたは、日常生活において人権侵害などで不愉快な思いをしたことがありますか

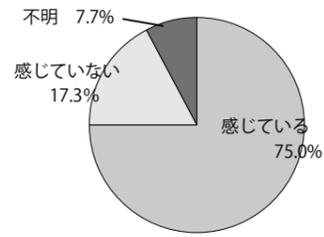


問 不愉快な思いをした理由

- ・うわさ、言葉の暴力・近所とのトラブル
- ・性差別・パワーハラスメント・誹謗中傷
- ・土地問題・母子家庭

効果的・効率的な行政経営の確立

問 町の施設・行政サービスが利用しやすいと感じていますか

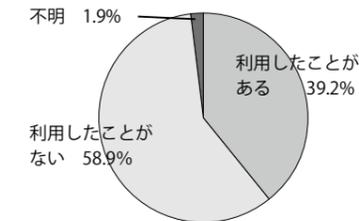


問 利用しやすいと感じていない理由

- ・職員の対応が悪い（遅い）
- ・利用する機会がない
- ・行政サービスの説明不足
- ・施設の利便性が悪い・交通の便が悪い
- ・時間外も開庁して欲しい・各種手続の簡素化
- ・サービスの低下

高速交通体系の充実

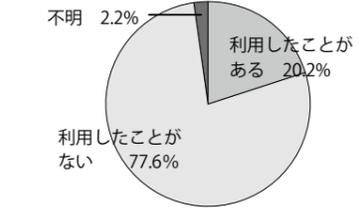
問 この1年間に肥薩おれんじ鉄道を利用したことがありますか



問 この1年間に肥薩おれんじ鉄道を利用したことがない理由

- ・自家用車を利用する・利用する機会がない
- ・不便である・病気や高齢のため
- ・最寄り駅まで遠い
- ・必要性がない

問 この1年間に路線バスを利用したことがありますか

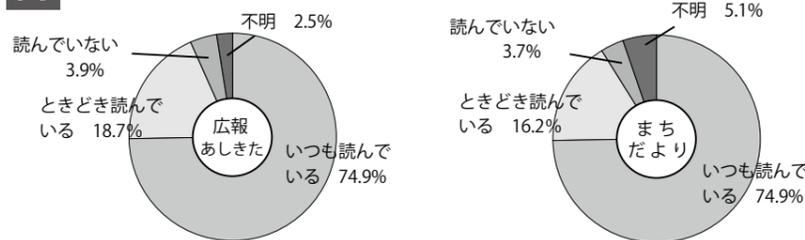


問 この1年間に路線バスを利用したことがない理由

- ・自家用車を利用する・利用する機会がない
- ・病気や高齢のため・不便である
- ・運行時間が合わない（便数が少ない）
- ・最寄りのバス停まで遠い（バス停が近くにない）
- ・電車を利用する・バスが通っていない

開かれた町政の推進

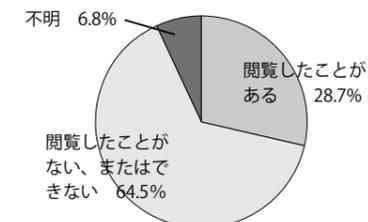
問 広報あしきた・まちだよりを読んでいますか



問 読んでいない理由

- ・関心がない
- ・読めない
- ・入院中、施設入所中

問 芦北町公式ホームページ（芦北町 HP）を閲覧したことがありますか

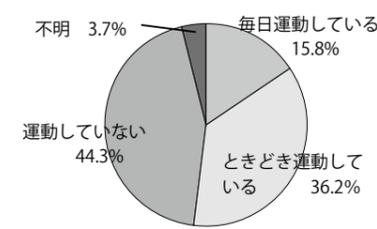


問 芦北町 HP を閲覧したことがない、またはできない理由

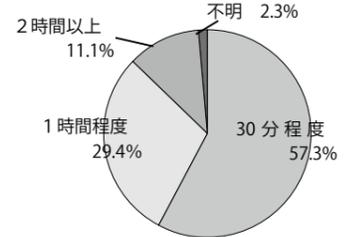
- ・パソコンを持っていない・パソコンが使えない
- ・インターネットに接続していない
- ・必要性を感じない・興味がない
- ・ホームページがあることを知らない
- ・閲覧方法がわからない

生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の推進

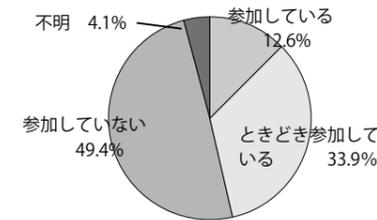
問 体力の維持・向上のため、日ごろから運動をしていますか



問 毎日運動している、ときどき運動している人は1日何時間程度運動をしていますか



問 スポーツやレクリエーション等のイベントに参加していますか

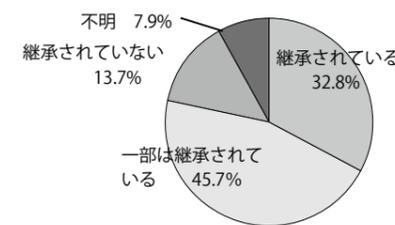


問 参加していない理由

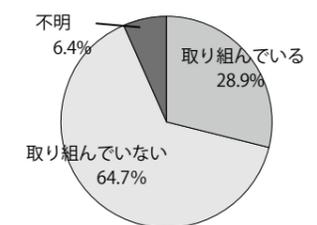
- ・病気や高齢のため取り組めない
- ・仕事や家事などで時間が取れない
- ・参加する機会がない・関心がない
- ・スポーツが苦手
- ・子どもや知人と一緒にあれば参加する

文化財の保存と活用

問 あなたの地域では、文化財や伝統芸能・行事が保存・継承されていますか

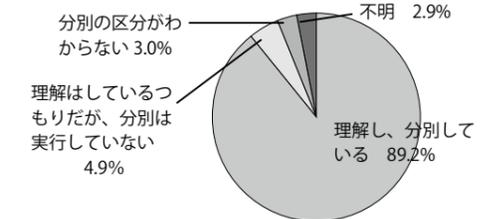


問 日ごろから芸術や文化活動に取り組んでいますか



循環型社会への転換

問 分別方法（22分別）を理解し、ごみを分別していますか

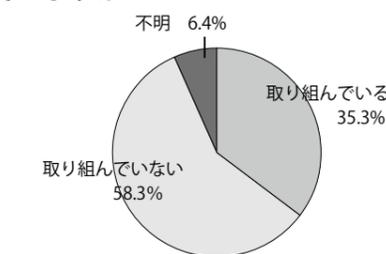


問 ごみの分別は理解しているつもりだが、実行していない、分別の区分がわからない理由

- ・他の者が分別している
- ・分別区分がわからない
- ・分別の種類が多すぎる
- ・面倒である

自然環境保全の推進

問 地球温暖化対策として何か取り組みを行っていますか



問 どのような取り組みを行っていますか

- ・省エネ（節水、節電）・河川、海岸、地域の清掃
- ・ホテルの保護・環境にやさしい交通手段
- ・マイバッグ（エコバッグ）の活用
- ・太陽光発電・ゴミの減量化、ゴミを燃やさない
- ・エコ商品購入・アイドリングストップ
- ・グリーンカーテン

調査にご協力いただいた町民の皆様、ありがとうございました。

平成24年度町県民税申告受付日程

月日	地区名	時間	受付申告会場	月日	地区名	時間	受付申告会場		
2/16 (木)	上原・高田辺 ・海路・内木場 ・簗瀬	午前9時30分 ～正午	東部保健福祉 センター	2/28 (火)	米田・丸山	午前9時30分 ～正午	きずなの里 トレーニング室		
	吉尾・市居原	午後1時 ～午後4時			豊岡・湯東 ・湯北	午後1時 ～午後4時			
2/17 (金)	永谷・黒岩 ・大岩2	午前9時30分 ～正午		2/29 (水)	大川内	午前9時30分 ～正午		きずなの里 トレーニング室	
	岩屋川内 ・大岩1	午後1時 ～午後4時			宮崎・湯南団地	午後1時 ～午後4時			
2/20 (月)	伏木氏・花北 ・諏訪・花東	午前9時30分 ～正午		3/1 (木)	高岡・古石	午前9時30分 ～正午		きずなの里 トレーニング室	
	田川・桑原 ・八幡・宮浦	午後1時 ～午後4時			湯南	午後1時 ～午後4時			
2/21 (火)	松生・大尼田 ・立川	午前9時30分 ～正午	3/2 (金)	海浦	午前9時30分 ～正午	地域活性化センター (旧改善センター) 2階大会議室			
	向町・本町・新 町・上町・道川 内・乙千屋	午後1時 ～午後4時		井牟田・波多島	午後1時 ～午後4時				
2/22 (水)	鶴木山・計石	午前9時30分 ～正午	3/5 (月)	小田浦5～7	午前9時30分 ～正午		地域活性化センター (旧改善センター) 2階大会議室		
	白岩・芦北	午後1時 ～午後4時		小田浦1～4	午後1時 ～午後4時				
2/23 (木)	花西	午前9時30分 ～正午	3/6 (火)	横居木 ・田浦3・4	午前9時30分 ～正午			地域活性化センター (旧改善センター) 2階大会議室	
	福浦・沖 ・女島西・平生	午後1時 ～午後4時		田浦1・2	午後1時 ～午後4時				
2/24 (金)	白石・告・塩浸	午前9時30分 ～正午	3/7 (水)	田浦町1・2	午前9時30分 ～正午	大野出張所 2階大研修室			
	天月・白木	午後1時 ～午後4時		田浦町3・4	午後1時 ～午後4時				
2/27 (月)	市野瀬・國見	午前9時30分 ～正午	3/8 (木)	地区指定なし	午前9時30分 ～正午		大野出張所 2階大研修室		
	大野	午後1時 ～午後4時		地区指定なし	午後1時 ～午後4時				
				3/9(金)～ 3/15(木) 土日除く	地区指定なし			午前8時30分 ～午後5時	役場本庁舎 3階大会議室

※出張申告期間中は、申告会場に職員が出ており、本庁税務課では少人数での対応になります。申告以外の用件で来庁される方も多い時期ですので、**申告会場でない時の役場税務課および田浦基幹支所での申告はご遠慮ください。**自分の地区以外の日でも結構ですので、**各申告会場をご利用ください。**それでも時間の都合がつかない方は、夜間申告受付や地区指定なしの期間をご利用ください。

●夜間申告受付

期間 3月1日(木)～3月15日(木) (土日除く)
時間 午後6時～午後7時
場所 役場本庁舎1階税務課

*お問い合わせ
税務課 住民税係 ☎82-2511 (内線123)

町県民税申告のお知らせ

申告受付期間 2月16日(木)～3月15日(木)
(土日は除く)
※期間前の申告は受け付けできません

平成24年度町県民税は、平成24年1月1日に住民登録がある方の平成23年中の所得に対して課税されます。

また、この申告は町県民税だけではなく、国民健康保険税などを決定する資料や福祉、医療、教育資金等の給付の資料、その他種々の申請の際必要となる所得証明のものになるものですから、期間中に必ず申告してください。

なお、税務署へ確定申告書を提出される方は、町県民税の申告をする必要はありません。

◆申告が必要な方

1. 勤務先から芦北町に給与支払報告書の提出がない方および年末調整が済んでいない方
2. 給与・公的年金以外に所得がある方 (農業・不動産・配当・譲渡・雑所得など)
3. 2か所以上から給与の支払いを受けている方
4. 給与所得者で、前年中に退職し再就職していない方
5. 扶養控除、医療費控除、その他諸控除の申告をする方
6. 税法上、誰の扶養にもなっていない方
7. 町外に居住する方の扶養親族となっている方
8. 住所や居所が町外にあり、町内に事務所や家屋敷を持っている方

※前年の収入が無かった方でも、国民健康保険税の軽減判定や所得証明の発行などその他行政サービスに税申告の内容が必要となる場合がありますので、申告をお願いいたします。

◆申告の際に必要なもの

1. 印鑑 (認印で結構です)
2. 所得を証明する資料 (源泉徴収票、事業主の支払証明書、収支明細書など)
3. 各種控除を受ける方はその証明書・領収書 (医療費、生命保険料、国民年金保険料など)
4. 障害者控除を受ける方は障害者手帳など
5. 所得税の還付申告をされる方は、本人の還付口座の分かるもの (通帳など)

※申告を円滑に行うため、医療費や農業経費などの領収書は、整理してご持参ください。医療費は人別に、農業などの経費は農業代や肥料代など種類別に合計してください。

税務署からのお知らせ

◎国税電子申告・納税システム「e-Tax」について

国税電子申告・納税システム「e-Tax」を利用することにより、所得税や消費税など国税の申告納税、法定調書の提出などの申請・届出が事務所や自宅に居ながらにして、インターネットで行うことができます。ぜひご利用ください。

*お問い合わせ 八代税務署 ☎0965(32)3141 (自動音声案内)

瑞宝双光章
金新藏さん（女島西）



金さんは昭和23年に湯浦村立湯浦中学校の教諭に始まり昭和58年の佐敷小学校の校長まで永きにわたり教職を務められ、生徒や児童がよい環境のもとで勉学に励んでほしいと校内の緑化運動や校舎の修繕など環境整備やスポーツ活動を通して子どもたちの学力の向上、体育振興に貢献しました。

現在は、田んぼも山の手入れもトラクターなどを乗りこなし自分で野菜やみかんを作っています。以前は、みかん栽培で70トン程収穫があったそうですが、今では10分の1ぐらいに縮小しているそうです。金さんは「このような章をもらってありがとうございます。私を支えてくださったみなさんに感謝しています。もう88歳ではなく、まだ88歳。そういう気持ちでこれからも健康に気をつけて頑張っていきたいと思います」と受章の感想を話しました。

文部科学大臣表彰
たのうらっ子地域応援団



たのうらっ子地域応援団関係者の皆さん

平成23年度において地域による学校支援活動が優れているとして学校支援地域本部事業「たのうらっ子地域応援団」が文部科学大臣表彰を受賞しました。

「たのうらっ子地域応援団」は、プリントの丸付け・子どもたちと一緒に校内清掃・図書室を使いやすいように整理するなど田浦小のお手伝いをする地域ボランティアの活動です。村田十五郎校長は「日常の学校のお手伝いをしてくださるボランティアの皆さんとの活動が認められてうれしい限りです」と受賞の感想を話しました。学校とボランティアの仲介の役目をしているコーディネーターの木村恵子さんは「子どもたちやボランティアの笑顔を見るとやりがいを感じます」と活動の喜びを話してくれました。

熊本県統計功労者表彰



東海カーボン(株)ノ浦工場の中島健志工場長

東海カーボン(株)ノ浦工場が厚生労働大臣表彰を受賞しました。毎月勤労統計調査の指定事業としてよく協力され、毎月期限までに調査票を提出し、調査内容も正確に記入されたことが評価され今回の受賞となりました。

また、熊本県統計グラフコンクールで大野中3年の溝上育美さんが特別賞（熊本県議会賞）を受賞しました。溝上さんは「何が変わった!?親世代と私たち」をテーマに、身体・体力などについて、親世代と比較した作品を作りました。また、川北あかりさん・河添彩音さん・西橋彩さん（佐敷中3年）も特別賞（熊本放送賞）を受賞しました。「地球の宝 世界遺産」をテーマに日本の地方別・世界の州別登録数、国別の登録数ランキングをまとめた作品を作りました。白藤千夏さん・一田寿幸さん（大野中2年）も入賞しました。

全力疾走で寒さを吹き飛ばせ

12月11日、第55回芦北マラソン大会が、佐敷中学校をスタート・フィニッシュに開催されました。大会には、町内の小・中学生、一般の375人（小学生105人、中学生259人、一般11人）が参加し健脚を競いました。



- 入賞者（敬称略）
- 【小学生男子3km】
- ① 井川龍人（佐敷小5年） 10分52秒
 - ② 村田海晟（佐敷小5年） 10分52秒
 - ③ 荒木 翼（佐敷小6年） 11分21秒
- 【小学生女子3km】
- ① 本郷未来（田浦小6年） 11分51秒
 - ② 藪下里歩（湯浦小4年） 13分32秒
 - ③ 松葉あかり（大野小6年） 13分32秒

- 【中学生男子5km】
- ① 坂本壮真（球磨中2年） 17分32秒
 - ② 山内貴之（湯浦中2年） 17分50秒
 - ③ 千原一晃（田浦中2年） 18分20秒
- 【中学生女子3km】
- ① 浪本聖子（田浦中2年） 12分05秒
 - ② 小田恵衣（湯浦中1年） 12分13秒
 - ③ 佐藤礼奈（湯浦中1年） 12分13秒
- 【一般男子30歳以上5km】
- ① 荒川国博（湯浦小教諭） 18分15秒
 - ② 木福勝則（芦北陸協） 19分10秒
 - ③ 引地 亨（ハートフルゆうあい） 19分41秒
- 【一般男子29歳以下5km】
- ① 山内 弦（芦北高1年） 17分05秒
 - ② 林田英一（芦北高2年） 18分20秒
 - ③ 木本勝哉（芦北高2年） 19分06秒

芦北に残る文化遺産

⑧ 実照寺仁王像

（芦北町指定有形文化財 昭和55年7月1日指定）

佐敷中学校の向かいにある実照寺山門には、プロレスラーのような体を持った木造の仁王像2体が安置してあります。

仁王の本来の名は金剛力士といい、仏法の守護神の一人です。その体つきからもわかるとおり仏様のボディガードで、お寺に仏敵が侵入しないようお寺の入り口に安置してあります。東大寺南大門の金剛力士像は、運慶、快慶の作品として、特に有名ですね。



金剛力士像は、神社などにある狛犬と同じように口を開けた阿形像（あぎょうぞう）と、口を閉じた吽形像（うんぎょうぞう）の2体がペアを組んでおり、これが仁王（二王）の名前の由来となっています。また、「阿」「吽」という言葉は、物事の始まりと終わりを表していて、最初から最後まで息が合った様子のことを「阿吽の呼吸」といいます。

実照寺仁王像は、元は佐敷新町の平等寺杉本院にありましたが、平等寺が廃寺となったため実照寺に移されました。この仁王像にはご利益があり、腕には旅の安全を願って奉納されたわらじを持っています。また、子どもに仁王像の股の下をくぐらせると丈夫な子に育つといわれています。

文禄元年（1592）に佐敷城が乗つとられた「梅北の乱」のときに、兵士と見間違えて矢を射掛けられたという伝説があり、その傷あとが今もお腹の部分に残っているそうです。じっくり観察してください。

*お問い合わせ 生涯学習課 文化振興係 ☎87-1171(内線145)

お知らせ

田浦子育て支援センター 2月の行事

- 3日(金) 節分の豆まきをしよう
 - 9日(木) クッキングを楽しもう(おやつ作り)
 - 21日(火)～28日(火) ひな人形づくり
 - 24日(金) 身体測定・誕生会
- ※支援センターは未就園児と保護者の方どなたでも利用できます。気軽においでください。
- ◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午
午後2時45分～午後5時15分
- *お問い合わせ 田浦子育て支援センター
☎87-0034

スポーツ安全保険の加入案内

平成24年度スポーツ安全保険加入の受付が3月から開始されます。スポーツ・文化・ボランティア・地域活動団体は、万一のケガに備えて保険に加入しませんか。

- ▼加入条件 5人以上の団体
- ▼対象 団体での活動中や団体活動への往復中の事故
- ▼内容 傷害保険・賠償責任保険・突然死葬祭用保険
- ▼掛け金 中学生以下は800円から、高校生以上は活動内容によって金額が異なるので左記までお問い合わせください。

*お問い合わせ
スポーツ安全協会熊本県支部
☎096(213)9015

水俣病被害者の救済説明会・相談会

県では、水俣病被害者の方に対する救済の申請を受け付けています。救済の対象となる方は、かつて水俣湾またはその周辺水域の魚などをたくさん食べた方のうち、両手足の先等に感覚障害をお持ちの方です。救済の対象となった方には、水俣病被害者手帳が交付され、一時金や療養手当、医療費の自己負担分などが支給されます。

なお、既に亡くなられた方についての水俣病被害者救済の申請についても受け付けています。亡くなられた方で、「過去の認定審査会の資料、その他公的な診断による資料」があり、一定の要件に該当する場合は、遺族の方に一時金が支給されます。また、左記のとおり、説明会および相談会を行います。県外にお住まいのご親戚、知り合いの方にもお知らせください。

- 【東京会場】
▼期日 2月4日(出)
▼会場 都道府県会館
- 【福岡会場】
▼期日 2月4日(出)
▼会場 八百治博多ホテル
- 【大阪会場】
▼期日 2月5日(日)
▼会場 大阪駅前第3ビル

派遣労働者セミナー開催

派遣労働者やこれから派遣労働者と考えている方を対象に、労働者派遣法や労働基準法等の労働関係法令や労働者派遣制度についての説明会と派遣労働に関する相談や正社員への就職等の相談会を開催します。

- ▼宇城公共職業安定所(定員30人)
○日時 2月10日(金)
午後1時30分～午後4時
- ▼熊本公共職業安定所(定員30人)
○日時 2月14日(火)
午後1時30分～午後4時

▼参加申込方法 電話により氏名、電話番号、参加希望会場を申込先へ連絡してください。各会場とも定員になり次第、申込受付を終了します。

*申込・お問い合わせ
熊本労働局職業安定部
需給調整事業室
☎096(211)1731

農業大学校24年度新規就農支援研修生募集

▼対象 新たに農業で生計を立てることを目指す方や農産物販売を目的とした農業経営を目指す方(平成24年4月1日現在で63歳以下の方)。

▼研修コース

- ①プロ農家養成コース(毎週火曜、水曜、金曜) 午前8時50分～午後4時20分(定員20人)
- ②実践農業コース(毎週月曜、木曜) 午前8時50分～午後4時20分(定員30人)
- ③特別セミナー聴講コース(毎月第4水曜) 午後1時30分～午後4時(定員10人程度)

▼研修期間 4月16日(月)～12月12日(水)

▼研修内容 栽培技術講義・実習、農業経営に必要な知識習得のための講義等

▼特別セミナー 農業の新しい技術や専門的な栽培管理技術、就農に必要な農業情報等

▼受講料 無料(教科書代等は実費)

▼申込期間 1月23日(月)～2月3日(金)

*お問い合わせ
熊本県立農業大学校(研修部)
☎096(248)1188

保健センターだより

肝機能低下を防ぎましょう!

年末年始は、ごちそうを食べ、お酒を飲む機会が増えたことだと思います。肝臓は栄養代謝や解毒、胆汁分泌といった「肝心要」の重要な働きを日々黙々とこなしています。肝機能が低下すると、まず栄養素の補給が滞りさらに毒物や老廃物の排泄がされなくなります。体内に蓄積され悪化すると、疲労感や倦怠感が現れてきます。肝臓の主な病気には急性肝炎と慢性肝炎があり、肝硬変や肝臓がんへと進行することがあります。肝臓はかなり悪くなくても症状が現れにくいので、肝機能に異常がないか定期的に検査することが大切です。

- ▼肝炎の原因 → 薬物アレルギー・お酒の飲み過ぎ・ウイルス感染など
- ▼脂肪肝の原因 → 肥満・糖尿病・暴飲暴食など

お酒は種類によってアルコールの度数が異なります。実際に飲んだ純アルコール量を知るには、【飲んだ量×アルコール度数(%)×比重(0.8)】の式で計算できます。

(例) アルコール度数5%のビール大瓶(633ml) 1本
純アルコール量:【633×0.05×0.8=25.32】・・・25g

日本人が1日に飲んでいい量は純アルコール22g程度とされています。ビールなら550ml、日本酒なら1合、焼酎25度なら0.6合、ワインなら240mlとなります。



～肝臓に負担をかけない食事～

- ◎たんぱく質を毎日「適量」とる
たんぱく質は肝細胞再生のために重要な栄養素です。必須アミノ酸をバランスよく含む魚介、肉、卵、乳製品をメインに、また大豆製品など植物性のたんぱく質もバランスよくとりましょう。
- ◎アルコールはできるだけ控える
アルコールのとり過ぎは肝臓にダメージを与えます。肝臓が病気になると、だるい、疲れやすい、食欲がない、お酒が飲めなくなる、お腹の上の方が痛む、黄疸がでるなどの症状が出ます。
- ◎ビタミンをしっかり取る
たんぱく質、脂質、糖質の3大栄養素の代謝が活発に行われるのが肝臓です。代謝にはビタミンのサポートがかかせません。ビタミンの代謝も肝臓で行われます。
- ◎3食規則正しくとり、食べ過ぎを防止
1日3回の食事をできるだけ規則正しく、均等の量に分けて食べると肝臓に負担をかけません。夜遅い飲食や朝食抜き、暴食など、1日のリズムを乱す食生活は、肝臓に負担をかけます。



*お問い合わせ 保健センター ☎86-0200

熊本県環境センター 2月開催のイベント

2日間の日程で星空観察・里地里山体験を行います。

1日目は、あきた青少年の家でネイチャーゲーム・星空観察を行い、そのまま宿泊します。2日目は、水俣市の愛林館(久木野ふるさとセンター)に移動して、食べ物作りや炭焼き体験、里山観察を行います。

▼日時 2月18日(出)午後2時～19日(回)午後3時30分

▼場所 ・あきた青少年の家
・愛林館

▼募集人員 40人(家族グループ) ※1人でも参加可、1グループ10人未満

※申込多数の場合は抽選(初めてイベントに参加する人を優先)

▼参加費 一般 2,460円
高校生以下1,800円
就学前1,200円

※施設利用料、食事、保険代等含む。

▼申込期限 1月31日(火)

▼申込方法 代表者の住所・電話番号、参加者の氏名・年齢を記載のうえ、ハガキ、メール、FAXで応募。

*申込・お問い合わせ
水俣市明神町55-1
熊本県環境センター
☎(62)2000
FAX(62)1212
E-mail:center@kumamoto-eco.jp

お誕生おめでとう

H23.12.1～12.31 受付分(敬称略) 受付件数 11 件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
田端 蓮 <small>れん</small>	9.22	男	千教	吉尾
入江 沙希 <small>さき</small>	11.23	女	竜一	田川
工藤 紗良 <small>さら</small>	11.26	女	聡	新町
谷口 璃子 <small>りこ</small>	11.29	女	典人	田浦2
藤原 匠 <small>たく</small>	12.8	男	秀久	花岡東
松下 冬磨 <small>とうま</small>	12.9	男	祐樹	西告
嶋本 大輝 <small>ひろ</small>	12.15	男	大輔	湯浦南
川添 優萌 <small>ゆうめ</small>	12.15	女	拓也	平生
川口 心菜 <small>こころな</small>	12.20	女	凌	横居木
小久保 玲菜 <small>れいな</small>	12.21	女	翔平	田浦町1
宮島 彩羽 <small>いろは</small>	12.24	女	和也	湯浦北

※本町窓口へ届出を出された方で、承諾を得た方を掲載しています。
町外に提出された方で、掲載を希望される場合は、役場秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H23.12.1～12.31 受付分(敬称略) 受付件数 30 件

死亡日	亡くなられた方	年齢	区
12.2	鶴田 ヨシ子	85	花岡西
12.2	成田 頼信	83	米田
12.4	塩村 孝	85	塩浸
12.4	尾崎 ジツ	96	田浦町1
12.5	藤井 文子	84	豊岡
12.6	北川 アヤ子	86	鶴木山
12.6	高峰 サツ子	77	宮浦
12.6	立場 正子	50	立川
12.7	中村 吾一	95	簸瀬
12.8	谷口 サエ	97	大野
12.8	山本 幸子	84	田浦4
12.11	永野 ハツエ	85	小田浦5
12.12	遠山 四十三	78	計石西
12.12	山下 美恵子	58	花岡東
12.13	田中 タエ子	83	井牟田1
12.16	村松 保行	81	道川内西
12.16	漆村 一喜	89	西告
12.17	道崎 キクエ	81	海浦1
12.18	岩本 二則	73	岩屋川内
12.18	宮脇 ハツエ	96	大川内南
12.21	谷崎 アキエ	92	小田浦7
12.23	川野 シズエ	86	國見
12.24	川口 市郎	83	簸瀬
12.26	村松 ツギエ	86	老人ホーム
12.26	田中 俊治	79	田浦町2
12.27	塩嶋 則義	82	塩浸
12.28	溝部 キヨ子	88	田川

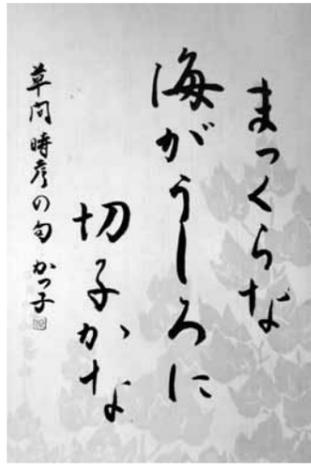
※本町窓口へ届出を出された方で、掲載の承諾を得た方を掲載しています。

人口の動き (H24.1.1 現在) ()内は前月比

人口	19,861人	(-22)
男	9,263人	(-10)
女	10,598人	(-12)
65歳以上	7,032人	(+2)
高齢化率	35.4%	(+0.1)
世帯数	7,618世帯	(-6)

「海」(草間時彦の句より)

山田 勝子



【町民講座】

書道 (かな)

短歌

楚々と咲く寒蘭の花かもしだす香り幽けき展示会場
みどり濃く艶めく苔の広がる中に散りたる紅葉数枚 鳥居 静子
この冬は節電決めし暖房にストーブ出せば母のおもかげ 米良 佑子
高々と咲きて四方を見下せる皇帝の名持つダリアの奢り 門寺 眞弓
賜いたる鈴蘭水仙球根のあまた芽吹きて春の待たるる 吉田 みほ

吉田 みほ

【田浦短歌会】

不知火海の一面深き霧のなかくつきり浮かぶ天草の尾根 林 良子
喧しく反TPPと叫べども後継者なく耕地荒れゆく 満田 圭一
突然に訪い来てわれを驚かし甥は土産を手渡し帰る 竹本ナミエ
デコボンの熟るるを待ちて群鳥の荒す無惨を糺す術なき 山下キミ子
僅かなる年金受取り花苗を買い帰る小春日の午後 駒走 チミ

駒走 チミ

芦北警察署からのお知らせ

●お問い合わせ
芦北警察署 ☎82-3110

ご存じですか?! ゆっぴー安心メール

ゆっぴー安心メールとは・・・

- 子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、県内で発生した
 - ◎声かけ事案、不審者の出没など、子どもに対する犯罪の前兆と思われる事案情報
 - ◎子ども対象の連れ去り、強制わいせつ、通り魔等事件情報
 - ◎強盗等重要または特異な犯罪発生に関する事件情報
 - ◎早急に保護すべき迷い子、徘徊老人等の手配情報
 - ◎その他、防犯パトロール等に有益な情報
 - ◎安全・安心につながる事件の検挙・解決情報

などを、事前に会員登録された方の携帯電話にその都度配信する熊本県警察の取組です。

ゆっぴー安心メールへ会員登録するには・・・

配信を希望する携帯電話を使って右のQRコードから熊本県警察宛に空メールを送信し、登録をお願いします。

※年会費、登録料などは無料ですが、メールの受信料は会員の負担となりますのでご了承ください。



熊本県警
マスコットキャラクター
ゆっぴー

QRコード



～芦北警察署少年柔道会部員募集～

見学自由です!

- ◆練習日時 毎週火・木・金 午後7時～午後8時30分
- ◆練習場所 芦北警察署3階道場

芦北消防署からのお知らせ

●お問い合わせ
芦北消防署 ☎82-4731

火事と救急は119

冬のお風呂での事故に注意

お風呂は1日の疲れを取り、心身ともにリラックスできる場所です。しかし、そんな入浴中に思いがけない危険が潜んでいます。それは浴室での転倒や浴槽内での溺水などの事故です。入浴中による事故は、11月から3月までの寒い時期に多発しています。

暖かい部屋から冷えた浴室に移動した時の大きな温度変化が、心臓や血管に負担をかけ、脳卒中や心臓発作などにより、“めまい”や“ふらつき”などを引き起こし、転倒や溺水・溺死事故につながると考えられています。そしてその多くが高齢者による事故です。

冬のお風呂で起こる事故のしくみ

- ・暖かいお風呂 (血圧は安定)
- ↓
- ・寒い脱衣所 (血管が縮んで血圧が上がる)
- ↓
- ・裸になってさらに寒い浴室へ (血圧がさらに上がる)
- ↓
- ・熱めのお湯にじっくり浸かって温まる (血管が広がって血圧が急激に降下)



高齢者が入浴する時は、時々家族や近くにいる人が声をかけたりするなど注意することが必要です。また、小さい子供だけでの入浴も事故が起こりやすく、大変危険ですので注意しましょう。

2012 芦北うたせマラソン大会



3月18日(日)
午前10時スタート

- ▶日 時 3月18日(日) 午前8時受付 午前9時開会式 雨天決行
- ▶会 場 芦北海浜総合公園
- ▶種 目 ハーフマラソン、10km、5km、3km
- ▶参加資格 男女ともに小学4年生以上の健康な方(オープン参加は認めません)
- ▶参加料 一般3,000円、高校生1,500円、小中学生1,000円
- ▶申込方法 商工観光課に備え付けの専用参加申込用紙(払込取扱票)に必要事項を記入のうえ、参加料を添えて指定口座へ振り込んでください。

▶**申込期限 2月17日(金)**

*申込・お問い合わせ

芦北うたせマラソン大会実行委員会(商工観光課内) ☎82-2511(内線172)

第2回グリーンカーテンコンテスト

地球温暖化の防止や快適な生活空間を創ることを目的にグリーンカーテンコンテストを開催しました。本年度は26点の応募がありました。厳正な審査を経て12月9日に表彰式を行いました。入賞者は下記のとおりです。(敬称略)

☆団体の部

1位	吉田薬店
2位	計石公民館
3位	宮崎整形外科医院
特別賞	芦北幼稚園
特別賞	県芦北地域振興局

☆個人の部

1位	長江章(天月)
2位	山田政昭(小田浦5)
3位	木野初子(花岡西)
特別賞	清水清(小田浦2)
特別賞	田中トシエ(花岡東)



◀(団体の部)1位
吉田薬店



▶(個人の部)1位
長江章さん宅

芦北町立星野富弘美術館だより

開館5周年を記念して原画展を開催しています。星野氏の幼い頃の作品や最近の作品など幅広く展示しています。初めて芦北町にやってきた作品も多いので、ぜひお越しください。

◇「奇跡の足あと・星野富弘展」

▼期間 3月11日(日)まで

▼休館日 第2・4月曜日



▲「風顔」1997年

*お問い合わせ

星野富弘美術館

☎(86)1600

編集後記

元旦から正月の光景をカメラに収めようと大晦日の夜に家を出ました。寒い中、除夜の鐘や初詣に親にだっこされた小さな子からおじいちゃん、おばあちゃんまでたくさんの方がお参りに来ました▼小さな子どもが親のまねをして手を合わせている姿を見るとかわいらしく、元旦から幸せな気分になりました▼今月号に掲載した町民意識調査で広報紙に関心がなく読まない人は約4%でした。その人たちにも関心を持ってもらええるような広報紙・読みやすい広報紙を作らなければと改めて思いました▼昨年は日本が人と人とのつながりを大事に感じた年でした。今年も人のつながりと笑顔を大切にしていこうと思っています。(寺)